

学年	1年	科目 分類	古 典	講義	前期また は後期	学習教育 目標	担当	渡邊 忠昭
学科(1年は クラス)	全クラス		Classical Japanese	必修	1単位	4		WATANABE Tadaaki
概 要	現代日本文化の源流としての基本的な古典の作品に親しみ、その底に流れている精神、人間性の「不易」なものと時代とともに変化する「流行」を見きわめる力を養う。さらに、そこで培われた「読み」（理解力）、「書き」（表現力）、「そろばん」（洞察力）をもって、国際社会における情報収集能力、情報発信能力の基礎を習得する。							
科目目標 (到達目標)	古文・漢文の読解を通じて日本文化受容への理解を深め、歴史を踏まえた文化発信力の基礎を身に付ける。							
教科書 器材等	「国語総合 古典編」東京書籍、「新訂最新国語便覧」浜島書店							
評価の基準と 方法	定期試験（70%）、平素の確認小テスト・学習状況（30%）で評価							
関連科目	1～4学年の国語関連科目							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回	×	古文入門 「宇治拾遺物語」・「常山紀談」 古文の言葉と仮名遣い						
第2回		随筆「徒然草」						
第3回		作り物語「竹取物語」（天の羽衣）						
第4回		作り物語「竹取物語」（天の羽衣）						
第5回		歌物語「伊勢物語」（東下り）						
第6回		歌物語「伊勢物語」（東下り）						
第7回		「万葉集」・「古今和歌集」・「新古今和歌集」						
第8回		中間試験						
第9回		「平家物語」（忠度の都落ち）						
第10回		「土佐日記」（馬のはなむけ）・「奥の細道」（大垣）						
第11回		漢文入門 訓読・故事成語「推敲」						
第12回		寓話「礼記」（苛政猛於虎也）						
第13回		「淮南子」（塞翁馬）						
第14回		唐詩						
第15回		史話「十八史略」（臥薪嘗胆）						
第16回		期末試験						
第17回		「論語」						
オフィスワー	出講日休み時間（非常勤講師控室）							
授業アンケートへの対応	前年度のアンケート結果を踏まえ、各單元ごとの理解度に応じて講義を進める。							
備 考	教材を変更することもある。 2組・5組は前期に開講、1組・3組・4組は後期に開講。							
更新履歴	20130319 新規							